

# 第6学年 外国語活動 学習指導案

指導者 T1: 石川 就美  
T2: Michelle Branch

## 1 単元名 If you can dream it, you can do it! ～伝え合おう! 「I want to be!」～

### <単元観>

本単元は、小学校学習指導要領解説 外国語編（平成29年7月）における英語（2）読むこと「イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。」に基づいて指導する内容である。

本単元は、自分の将来の夢やしたいこと、その理由などについて伝え合うこと、また、話したことを書いたり、友達が書いた英文を推測しながら読んだりすることをねらいとしている。前単元で作った思い出アルバムからつなげ、今の自分が描く夢についての絵本を書いて見合い共有するという単元ゴールを設定することで、相手意識・目的意識をもって活動に取り組んでいくことが期待できる。

また、本校の特色である命の教育や、総合的な学習の時間で取り組んできたドリームナビとも関連させ、様々な仕事の大切さ、働くということ、自分が尊敬する人物や影響を受けた言葉などについて考えていく中で、自分の成長に気付くとともに、これからの生き方や夢の実現に向けて考えることにつながるだろう。

友達と伝え合う活動を通して、自分や友達のよさを再認識し、みんなで夢を実現しようとする気持ちをもったり、友達の夢を応援しようとする気持ちをもったりしながら、未来に向けて語り合おうとする姿を期待する。

### <児童観>

#### ① 伝え合う力に見る課題

アンケートや児童の実態から、伝えたい内容や自分の思いを、既習表現を活用しながら英語で表現したり、相手の話に応じて対話を続けたりすることに課題が挙げられる。また、自分の思いをもたないまま活動に取り組んでしまう児童も見られる。

#### ② 読むことに見る課題

やり取りを通して学習した表現を使って自分の体験や気持ち、考えなどを聞いて理解したり話したりすることはできるが、書かれた英文を読んで音声化できず内容をつかめない児童が見られる。アルファベットの音に慣れる活動や、語句や表現の意味を理解して読むことについての言語活動が十分ではなかったと考えられる。

### <指導観>

#### ① 伝え合う力をつけるための手立て

伝えたいことをどう表現すればよいか気付かせるために、相手を変えながら何度も繰り返し対話的な活動に取り組めるよう毎時間 Small Talk を設定する。また、伝えたい内容を整理しながらイメージできるように、単元のゴールを導入から明確に示し、見通しをもって言語活動に取り組めるようにする。

#### ② 読む力をつけるための手立て

音声と文字をつなげて理解させるために、音声によるゲーム活動や Small Talk などを行い、やり取りを通じて十分な慣れ親しみを図った上で、語を一つのまとまりとして徐々に認識する活動、文字の音の読み方に気付く活動、文構造への意識を高める言語活動を段階的に繰り返し行う。

## 2 単元の目標

- ・他者に配慮しながら、進んで将来の夢について伝え合おうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを表す表現に慣れ親しむ。
- ・将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、話したことや例を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】
- ・英語での職業の言い方について日本語との音声面等の違いや特徴に気付く。
- ・英語の書き方の規則に気付く。 【言語や文化に関する気付き】

## 3 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
① 他者に配慮しながら、進んで将来の夢について伝え合おうとしている。	① 将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを表す表現に慣れ親しんでいる。 ② 将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、話したことや例を参考に書いたりすることに慣れ親しんでいる。	① 英語での職業の言い方について日本語との音声面等の違いや特徴に気付いている。 ② 英語の書き方の規則に気付いている。

#### 4 本単元において育てたい資質・能力と目指す児童の姿

思考力・判断力・表現力	目的に応じて必要な情報を集めたり，伝える相手や状況に応じて学習した表現を適切に使いながら，考えや気持ちを伝え合ったりしている。
アイデンティティ	互いに考えや気持ちを伝え合うことで自己を表現する楽しさに気付くとともに，互いの存在について理解を深め，認め合っている。

#### 5 言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
<u>What do you want to be?</u> <u>I want to be a ~.</u> I like ~. I can ~. <u>I am good at ~</u> I want to ~. Do you ~? Yes, I do. / No, I don't. That's (good). <u>Good luck.</u>	<u>職業 (animal officer, architect, astronaut, baker, baseball player, cook, dentist, doctor, farmer, flight attendant, game creator, hairdresser, nursery teacher, pastry chef, vet, zoo keeper, pilot, pharmacist, fashion designer など)</u> <u>be, luck, future</u> , 動作, スポーツ, 動物, 飲食物, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was), 身の回りの物, 教科, 日課 など

#### 6 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	『Dream Book』を作り，自分の将来の夢やしたいことについて伝え合ったり，紹介したりする。
目指す児童の姿 (話すこと [やり取り])	A: Hi. Let's talk about the dream. What do you want to be? B: I want to be a baseball player. A: That's nice. Why? B: Because I like baseball. I'm good at batting. I like Ichiro. I want to play major league baseball. A: I see. That's great. Good luck. You can do it! B: Thanks. How about you?
目指す児童の姿 (書くこと)	I want to be a baseball player. I like baseball. I'm good at batting. I want to play major league baseball.

#### 7 単元計画（全7時間）

時	目標（◆）と主な活動，やり取り等	評価規準・評価方法	表現例
1	◆将来の夢についての話を聞いて，単元の見通しを持つ。 ◆英語での職業の言い方の特徴に気付く。 ★Small Talk（子どもの頃の将来の夢） 教師の子どもの頃の夢についての話を聞き，単元のゴールイメージをもつ。 ○ポインティングゲーム ○【Let's Watch and Think 1】 映像を見て分かったことを誌面に記入する。 ○Sounds and Letters フォニックス DVD を見ながら，アルファベットの音と名称を確認する。	【気①】 英語での職業の言い方について日本語との音声面等の違いや特徴に気付いている。 (行動観察，振り返りカード)	<u>What do you want to be?</u> <u>I want to be a ~.</u> How about you?

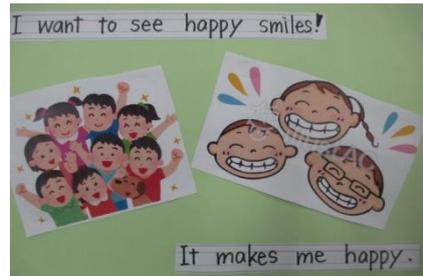
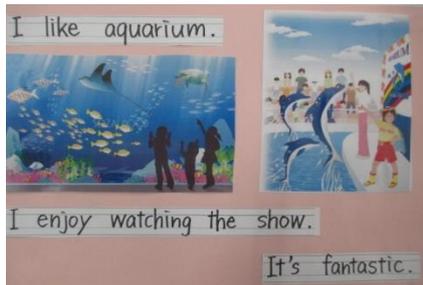
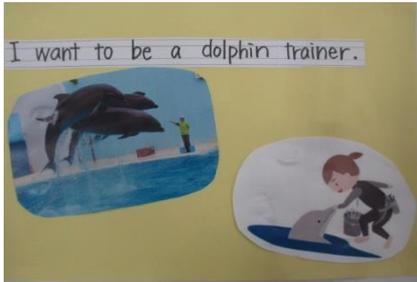
2	<p>◆就きたい職業とその理由を聞いて、内容をつかむ。 ◆就きたい職業について尋ねたり答えたりする。 ★Small Talk (子どもの頃の将来の夢) ○【Let's Chant】“What do you want to be?” ○キーワードゲーム、カード並べゲーム ○【Let's Watch and Think 2】 映像を見て分かったことを話し合う。 ○Let's Talk 「就きたい職業」 ○ワードオーダーゲーム 正しい語順で文を作る。(I want to be ~. I like ~.)</p>	<p>【コ①】 進んで就きたい職業について聞いた り言ったりしようとしている。 (行動観察、振り返りカード)</p>	<p>What do you want to be? I want to be a ~. I like ~. <u>That's (good 等).</u> <u>Good luck!</u></p>
3	<p>◆就きたい職業とその理由について考える。 ★Small Talk 「就きたい職業」 ○【Let's Chant】“What do you want to be?” ○【Let's Watch and Think 3】 映像を見て分かったことを話し合う。 ○ミッシングゲーム ○インタビューゲーム① ペアを替えて複数回対話をする。 ○Let's Read ワークシートに書かれた英文を読んで話し合う。 ○Let's Write 例文を参考に、I want to be a ~.を書く。</p>	<p>【慣①】 I want to be a ~. I like ~. I can ~. I am good at ~.を使っ て、就きたい職業と理由を伝え合っ ている。 (行動観察・振り返りカード)</p>	<p>What do you want to be? I want to be a ~. I like ~. I can ~. I am good at ~. That's (good 等). Good luck!</p>
4	<p>◆就きたい職業とその理由などについて伝え合う。 ★Small Talk (あこがれの人・尊敬する人) ○【Let's Chant】“What do you want to be?” ○【Let's Listen】 登場人物の将来の夢の話の話を聞いて、分かったことを 記入する。 ○Let's Talk 「就きたい職業とその理由」 ペアを替えて複数回対話をする。 ○マッチングゲーム ○Let's Read ワークシートに書かれた英文を読んで話し合う。</p>	<p>【慣①】 I want to be a ~. I like ~. I can ~. I am good at ~. I want to ~.を使って、就きたい職 業やしたいこと、理由などを伝え合 っている。 (行動観察・振り返りカード)</p>	<p>What do you want to be? I want to be a ~. I like ~. I can ~. I am good at ~. I want to ~. That's (good 等). Good luck!</p>
5	<p>◆例を参考に、英語の書き方の規則に注意して将来の 夢やしたいこと、理由などについて書き写す。 ★Small Talk 「あこがれの人・尊敬する人」 ○【Let's Chant】“What do you want to be?” ○Let's Talk 「就きたい職業やしたいこと、理由」 ○Let's Read ワークシートに書かれた英文を読んで話し合う。 ○Let's Write 例文を参考に、I like ~. / I can ~. / I'm good at ~. / I want to ~.などの理由にあたる文を書く。 書いたものをグループで読み合う。</p>	<p>【慣②】 例を参考に、自分の将来の夢やした いこと、理由について書き写してい る。 (記述観察、振り返りカード)</p>	<p>What do you want to be? I want to be a ~. I like ~. I can ~. I am good at ~. I want to ~.</p>
6	<p>◆将来の夢やしたいこと、理由などについて他者に配 慮しながら伝え合おうとする。 ◆例文をもとに、英語の書き方の規則に注意して将来 の夢やしたいこと、理由などについて書く。 ○【Let's Chant】“What do you want to be?” ○【Let's Read and Write 1】 誌面のスピーチを読み、そのスピーチやこれまで書 き写した文を参考に Dream Book を書く。 ○Let's Talk 「将来の夢とその理由」 グループ内で将来の夢についてスピーチをして、感 想や質問をして交流する。</p>	<p>【気②】 話したことや例文から、英語の語順 や書き方の規則に気付いている。 (行動観察、記述観察、 振り返りカード) 【コ①】 相手意識をもって、学習した基本的 な英語表現を使いながら将来の夢に ついて伝え合おうとしている。(行動 観察)</p>	<p>I want to be a ~. I like ~. I can ~. I am good at ~. I want to ~.</p>

7 (本時)	<p>◆将来の夢について書かれた「Dream Book」を読み、内容を理解する。</p> <p>○【Let's Chant】“What do you want to be?”</p> <p>★Small Talk「将来の夢とその理由」 ペアを替えて複数回対話をする。</p> <p>○Let's Read</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書かれた英文を読んで話し合う。</li> <li>・配布されたクラスの中の誰かの Dream Book を読み、内容についてグループで交流する。本人だと思う人に返し、感想等を伝え合う。</li> </ul>	<p>【慣②】</p> <p>将来の夢について書かれた英文を推測しながら読んでいる。 (行動観察・振り返りカード)</p>	<p>I want to be a ～.</p> <p>I like ～.</p> <p>I can ～.</p> <p>I am good at ～.</p> <p>I want to ～.</p>
-----------	---	---	--

**単元のゴールイメージ (作品)**

☆将来の夢や理由、したいことなどを絵本にして伝え合おう！

☆友達と絵本を見合い、夢や思いを共有しよう！



**8 本時の学習**

**<本時の目標>**

将来の夢とその理由などについて伝え合ったり、友達の Dream Book を推測しながら読み、内容を理解したりする。

**<ゴールイメージ>**

将来の夢について、学習した簡単な語句や基本的な表現を使って理由や思いを言ったり、相手の話す内容を理解しようと楽しんで聞いたりしている。また、文字の音や絵から語句の意味や読み方を推測して読もうとしている。

**<学習展開>**

児童の学習活動	指導上の留意点等 (T1: JLT, T2: ALT) ◆評価										
<p>【Greeting】</p> <p>1 挨拶をする。</p>	<p>○児童が元気に挨拶できるように、明るく元気に挨拶する。</p>										
<p>【基本の授業開始の挨拶】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">T1 : Let's start our English Lesson.</td> <td style="width: 50%;">SS&amp;T2 : Let's start our English Lesson.</td> </tr> <tr> <td>T1 : How are you?</td> <td>SS&amp;T2 : I'm fine/good/great ～.</td> </tr> <tr> <td>T1 : What's the date today?</td> <td>SS&amp;T2 : It's ～.</td> </tr> <tr> <td>T1 : What day is it today?</td> <td>SS&amp;T2 : It's ～.</td> </tr> <tr> <td>T1 : How is the weather today?</td> <td>SS&amp;T2 : It's ～.</td> </tr> </table>		T1 : Let's start our English Lesson.	SS&T2 : Let's start our English Lesson.	T1 : How are you?	SS&T2 : I'm fine/good/great ～.	T1 : What's the date today?	SS&T2 : It's ～.	T1 : What day is it today?	SS&T2 : It's ～.	T1 : How is the weather today?	SS&T2 : It's ～.
T1 : Let's start our English Lesson.	SS&T2 : Let's start our English Lesson.										
T1 : How are you?	SS&T2 : I'm fine/good/great ～.										
T1 : What's the date today?	SS&T2 : It's ～.										
T1 : What day is it today?	SS&T2 : It's ～.										
T1 : How is the weather today?	SS&T2 : It's ～.										

<p><b>【Warm-up】</b></p> <p>2 Chant “What do you want to be?” を歌う。</p>	<p>○リズムによってチャンツを行い、本時の活動で使う表現に慣れさせる。</p> <p>○慣れてきたら語句を変えるなどして慣れ親しませる。</p>
<p><b>【Today's Goal】</b></p> <p>3 本時のめあてを知る。</p>	<p>○単元のゴールと流れを振り返り、本時のめあてを提示して学習の見通しをもたせる。</p>
<p>T1 : OK. This is today's goal. Let's say together, one two.</p> <p>SS : 「友達の Dream Book を読んで、内容について交流しよう！」</p>	
<p><b>【Activity 1】</b></p> <p>4 Let's Talk</p> <p>将来の夢とその理由について指導者の話を聞いた後、ペアでやり取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアを替えて複数回対話をする。</li> </ul>	<p>○前時までに行ったやり取りを扱うことで、表現を復習するとともに、定着を図るようにする。</p> <p>○表情やジェスチャーをつけて反応を返したり、Do you like～?などの既習表現を積極的に使ったりしながら、相手意識をもって会話を続けようとしている児童をほめ、全体の場で取り上げ紹介する。</p> <p>○活動後は、友達の考えの良さや自分との共通点などについて気付いたことや考えたことを発表させる。</p>
<p>S1: Hi. What do you want to be?  S2: I want to be a baseball player.  S1: Baseball player. That's great. Why?  S2: I like baseball.  I'm good at catching.  I want to play major league baseball.  S1: I see. That's nice. Good luck!  S2: Thanks. How about you?</p>	<p>T2: Hi. How are you? What do you want to be?  T1: I want to be a dolphin trainer.  T2: Oh, trainer. That's great! Why?  T1: Because I like aquarium and dolphins. I enjoy watching the show. I'm good at taking care of animals. I want to see happy smiles.  T2: I see. That's nice. Good luck!  T1: Thanks. How about you?  T2: I want to be an English teacher. I like children. I'm good at speaking English. I want to help children.  T1: That's good. You can do it! Nice talking to you. Thank you.  Now, let's talk in pairs.  I want to be ~. I like ~. I can ~. I'm good at ~. I want to ~.  Let's start!</p>
<p>◆【慣】 I want to be ~. I like ~. I can ~. I'm good at ~. I want to ~. を使って、将来の夢とその理由など自分の思いを伝え合っている。  (行動観察)</p>	
<p><b>【Activity 2】</b></p> <p>5 Let's Read①</p> <p>先生の子どもの頃の夢について書かれた英文を聞いたり読んだりして、内容について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT が読む内容を聞き取る。  (音声のみ)</li> <li>・内容についてやり取りをする。</li> <li>・文章を指でなぞりながら読む。  (文章提示)</li> <li>・内容について質問に答える。</li> <li>・ALT の後に続いて繰り返し読む。</li> </ul>	<p>○音声で十分慣れ親しませた語句や表現が文字と一致するように段階的に指導する。</p> <p>○単語をまとまりで認識し、音と文字をつなげながら読めるよう、ゆっくり単語を押さえながら全体で確認する。</p> <p>○ワークシートに書かれた英文を読んで意味を理解させるとともに、誰の夢について書かれているか、また、自分との共通点や相違点などについて考えさせる。</p>
<p>Ex) I want to be a police officer.  I like the police uniform.  I like “kochikame”.  I want to drive a police car.  I want to help people.</p>	

<p><b>【Activity 3】</b></p> <p>6 Let's Read②</p> <p>クラスの誰かが書いた Dream Book を推測しながら読み、内容について交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で読む。</li> <li>・内容について分かったことをペアで交流する。</li> <li>・誰が書いた原稿かを推測し、やり取りをしながら本人だと思う人へ返す。</li> </ul>	<p>○誰が書いた Dream Book か分からない状態にして、全体へランダムに配布する。</p> <p>○読むことに困難を示している児童については、初頭音やイラストから読みを推測するよう語を発音して音を聞かせるなど個別に対応する。</p> <p>○ペアで読み合い内容について交流するとともに、読めない語句がないか確認させる。</p> <p>◆【慣】 将来の夢について簡単な語句や表現で書かれた英文を推測しながら読み、書き手を見つけている。(行動観察・振り返りカード)</p>
<p><b>【Reflection】</b></p> <p>7 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>	
<p>(例) 誰の Dream Book か文章を読んで分かった。○○君はバッティングが得意だと言っていたから絵と文章を見て○○君の Dream Book だと分かった。△△さんの夢は知っていたけど、好きなことや得意なことなど理由はよく知らなかったの、知ることができてよかった。</p>	
<p>挨拶をする。</p>	<p>T1 : That's all for today. See you next time. SS&amp;TT : See you</p>

**9 板書計画**

<p><u>If you can dream it, you can do it!</u> ~伝え合おう! 「I want to be!」~</p>	<p>単元の流れ</p>
<p>◎友達の Dream Book を読んで、内容について交流しよう!</p>	
<p>☆職業のイラスト ☆本時に必要な既習の語句、表現 (ワードリスト)</p>	<p>本単元で使う Key phrase I want to be a ~. I like ~. I can ~. I want to ~.</p>
<p>Let's Read の英文</p>	
<p>Reaction の言葉 Talk Time の活用表</p>	